

C-37 女子高校生の肌着につく皮脂よごれ量

梶山女学園大家政 小林 重喜
○山内 和子
松井 澄江
吉田美由喜

1. 肌着につく皮脂よごれ量の実態を明らかにする目的で研究を計画し、すでに女子大学生、男女中学生および男子高校生の皮脂よごれ量について報告した。今回は女子高校生の皮脂よごれ量を測定した結果について報告する。

2. 被験者は梶山女大附属高校女生徒 30 名。試料は 8 月を除く毎月 1 回採取した。試料の採取法は、綿布 10×20 cm を肌着の背部に縫いつけ 24 時間着用してもらい、試料布に付着した皮脂よごれをベンゼンで抽出した。皮脂の測定は単分子膜レンズ法により、ステアリン酸当量の mg 数であらわした。

3. 今回測定した女子高校生の肌着につく皮脂よごれ量は、 $0 \sim 47.2$ mg / 100 cm² の間に分布し、最多値は 15 mg / 100 cm² である。

これを男子高校生と比較すると、全体的にみて両者の間に差は認めにくい。肌着につく皮脂よごれは、中学生から高校生へ移る年代付近で急激に増加するのではないかと考えられる。